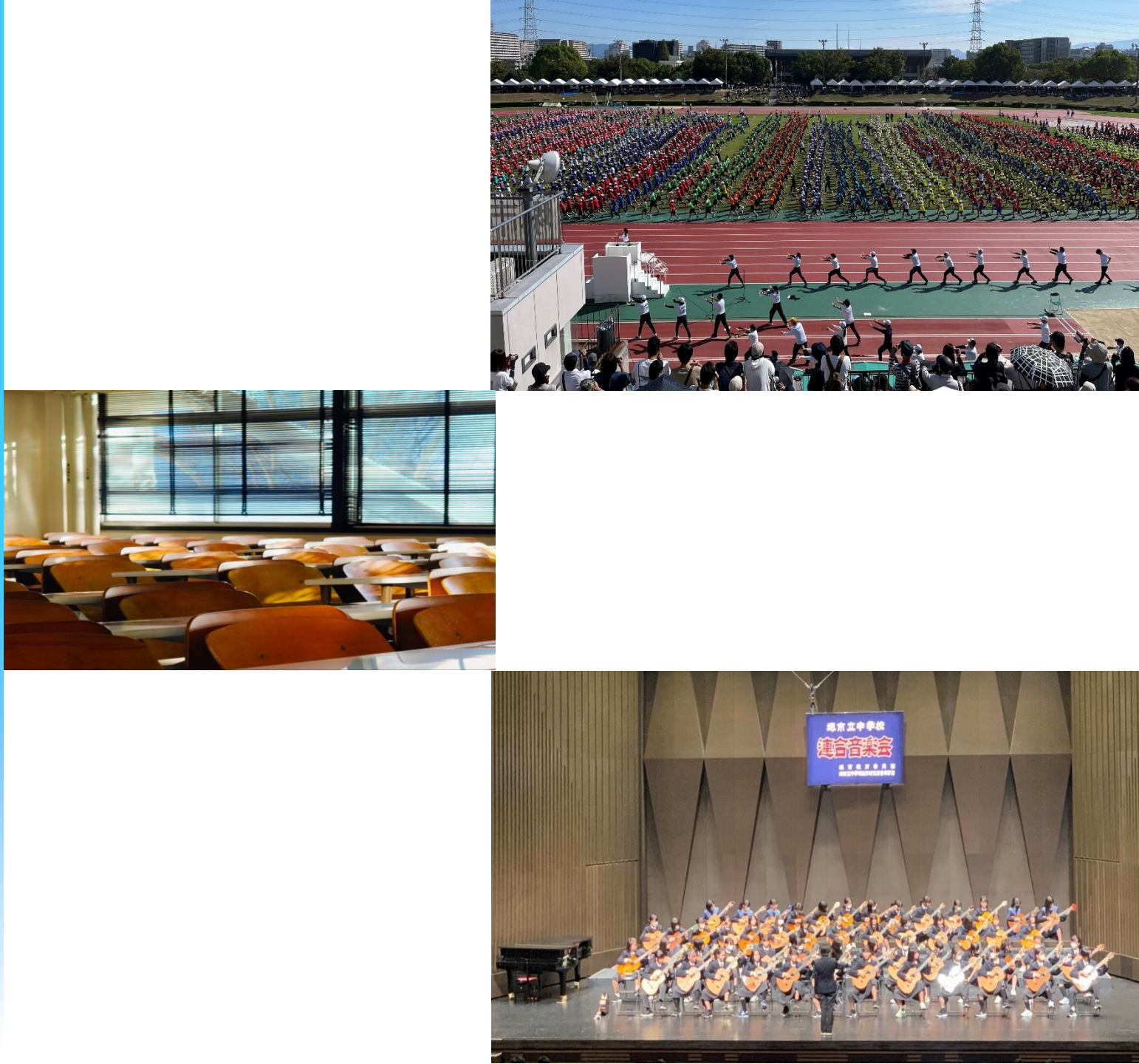


堺が進める 「新たな学校のあり方」

～チームで支える、こどもの学びと育ち～

令和 7 年 4 月

堺市教育委員会



社会の変化に対して、 学校は、これまでと同じでいいのでしょうか・・・

－ こどもの数が減っています－

こどもの数が減ると、授業や行事の内容が限られたものになります

－ 先生になりたい人が少なくなっています－

先生がいないと学校の活動が限られたものになります

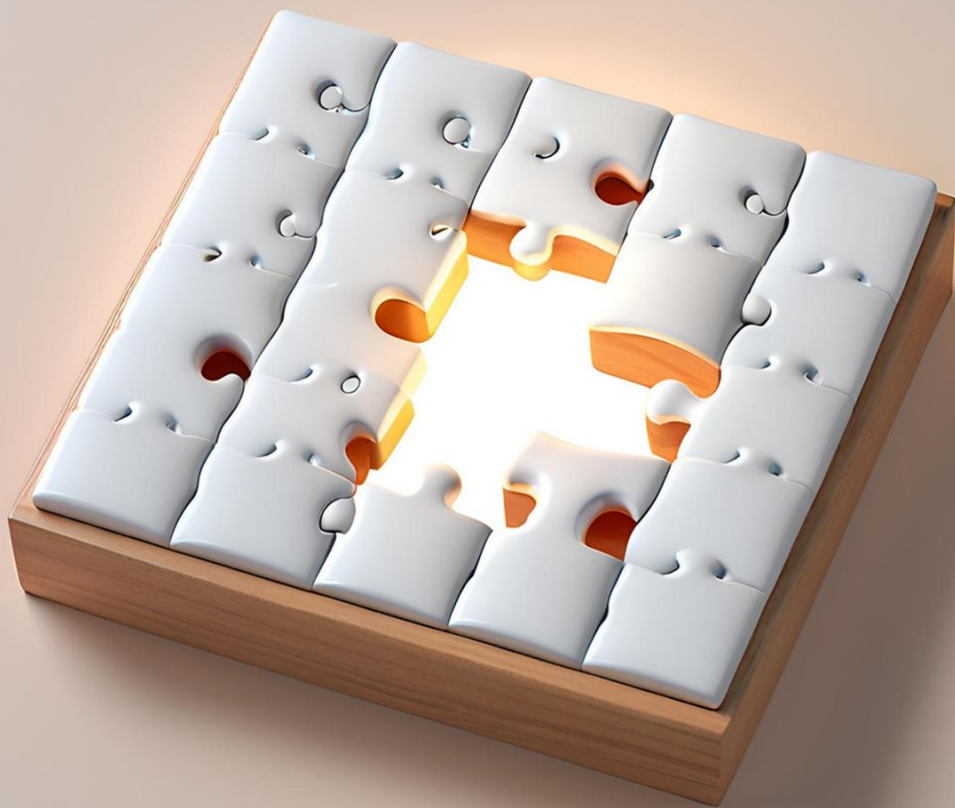
－ SNSやICTが普段の生活に定着しています－

学校でもパソコンをうまく使うことで授業の幅が広がります

－ 多様化する社会－

例えば・・・こどもの意見を大切にすること 不登校のこども 配慮を要するこども 外国にルーツのあるこども

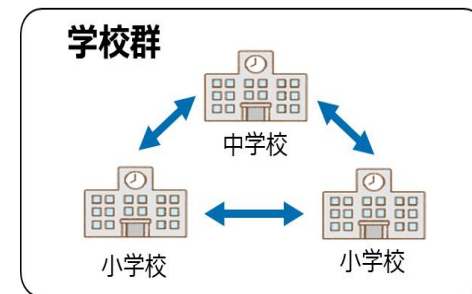
**堺市では、これからの学校のあり方を考え
新たな取組を進めます**



「学校群を中心としたマネジメント」

学校群

中学校区の中の小学校と中学校を1つのチームとして考える、学校運営体制の呼び方です



マネジメントの手法

「学校単位」ではなく「学校群単位」で考えることで、活動の選択肢が増えることが期待でき、そのなかで必要な取組を実践します

「つながり」による、より円滑で柔軟な学校運営

小学校と小学校、小学校と中学校の「つながり」を深めることで、いろいろな課題や悩みに対して寄り添う学校運営をめざします



身近な「課題」や「悩み」に 寄り添う学校へ

学校規模等の違い

できることや対応、教員の経験を積む機会など、
学校によって違うことがある

学校での学び

学校の教育は、これまでと同じでいいのかな
こどもが学ぶ内容は、今後どうなるのかな

中学校進学への不安

中学校ってどんなところかな
違う小学校の子と友だちになれるかな



これからの社会で 「自分らしく生きる」ために

社会の変化

社会の変化により、こどもたちに身に付けてほしい力も変化します
これからは、自ら考え、判断し、行動できる力が必要です

自ら考え、判断し、行動できる力

- 「新たな価値を創造する力（自分で考え、実現させる）」
- 「対立やジレンマに対処する力（状況に応じて対応できる）」
- 「責任ある行動をとる力（自分で判断し責任をもって行動できる）」

安心できる環境

こどもにとって、学校は身近な場所の1つです
学校が安心と思える居場所であり続けることが大切です



これからの学校

縦につながる教育

幼児期から小学校・中学校へのつながりや生涯にわたる学びの機会を確保することを重視しています

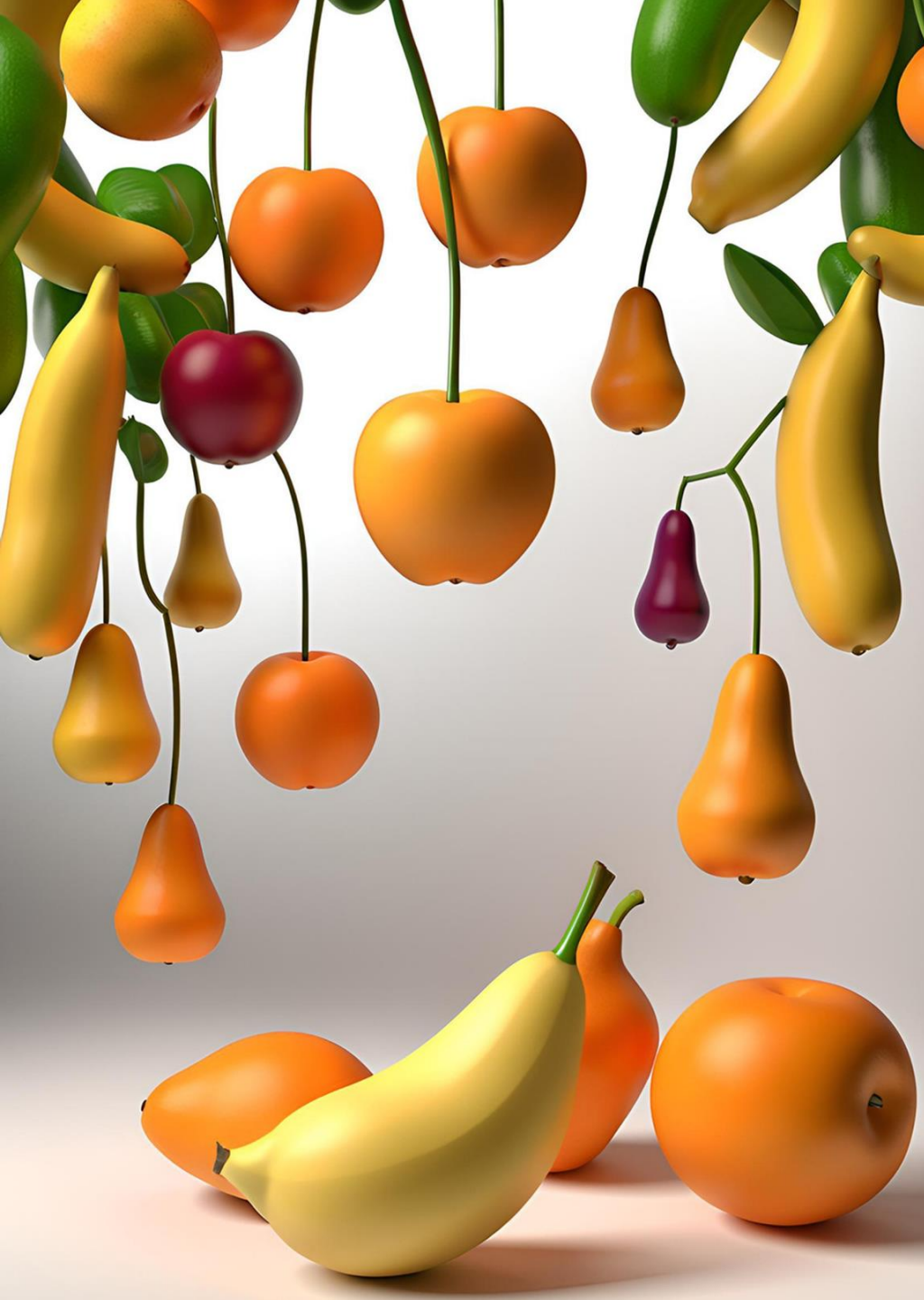
横にひろがる教育

学校・家庭・地域が協力して、こどもたちの学びや成長を支えることを重視しています

学校群を中心としたマネジメント

小学校と小学校、小学校と中学校がチームとなり、つながる教育を行うもので、「縦につながる教育」、「横にひろがる教育」の方針に沿った新しい取組です

これからの社会を見据え、学校も変わります



「強み」や「資源」をいかす

「強み」をいかす ～先生の専門性や得意をいかす～

いろいろなノウハウを持った先生や経験豊富な先生の「強み」をみんなで共有し、学びや活動の質を高めます

「資源」をいかす ～立地に応じた環境や周囲の力をいかす～

近隣の学校、地域の立地や環境といった「資源」を利用し、授業や行事の質の向上を図ります

広い視点で考えることで、選択肢を増やす

これまでのように一つの学校で考えるよりも、広い視点で考えることで、活用できる「強み」や「資源」が増え、選択肢も増えます



選択肢が増えると・・・

多くの先生が関われる

小学校と中学校の先生などがいっしょに考え活動することで、アイデアや工夫が生まれ、学びの選択肢が増えるきっかけになります
また、先生も多くの先生たちと相談・連携できる環境がうまれます

学びの選択肢が増える

学びの選択肢が増えることで、これまでできなかったことの実現や、
取組内容の充実など、教育内容の質の向上が期待できます

先生たちの相談・連携による安心感につながる

自校だけではなく近隣の学校を含めて、多くの先生を頼ることができます
チームの意識ができることによって、安心の輪が広がります



学校の様子



強みをいかした授業

中学校の先生が小学校へ、小学校の先生が中学校へ訪問して授業等を行うなど、先生の強みをいかした取組ができます

(写真：中学校教員による小学校での授業の様子)



共同で取り組む授業

こどもの人数が少なく1つの学校ではできないことも、いっしょに授業を行うことで、普段できないことにも取り組めます

(写真：連合運動会前に合同で綱引きの練習をする様子)



資源をいかした授業

近隣校区の資源をいっしょに活用することや、学校の備品等の貸し借りを行うなど、今あるものを有効に活用します

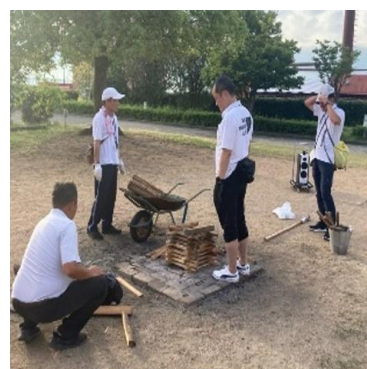
(写真：田んぼを活用した体験活動の様子)



強みをいかした情報伝達

通常、中学校入学後に聞く進路の話も小学校と中学校がいっしょに考えることで、早い段階からの情報伝達ができます

(写真：小6保護者を対象とした高校進路説明会の様子)



共同で取り組む行事

1つの学校だけでは大変なことも、複数の学校がいっしょに行うことで、準備の段階から多くの先生が役割分担して取り組めます

(写真：小学校合同のキャンプファイヤーの準備の様子)



ともに学ぶ研修

小学校と中学校の先生がいっしょに研修を行います。それぞれの強みや良さを学び、より良い教育活動につなげます

(写真：中学校教員が小学校で給食準備を体験する様子)

こどもにとって・・・

多様な 授業・体験

普段とは違う授業や、中学校の先生と関わりながら授業や行事を体験する機会が増え、学びの楽しさが広がります

未来の同級生 との出会い

近隣の小学校の友だちと早い段階から定期的に知る機会ができることで、中学校への不安が軽減されます

不安の 軽減・解消

中学校の先生をはじめ多くの先生との関わりを通じて、不安の軽減が期待できます
小学校の段階から中学校の生活を知る機会が増えます

相手を想う 気持ち

普段とは違う友だちや、年齢の違う友だちの関わりを持つことによって、より相手のことを考えて行動する機会が増えます

先生にとって・・・

学びの 機会の創出

近隣の学校と1つのチームの意識を持つことで、多様なノウハウや経験を持つ先生と交流でき、先生自身の学びの機会が増えます

安心できる 環境

近隣の学校の先生同士が気軽に相談することで新たな気づきが生まれ、悩みの軽減や解消が期待できます

こども理解 の深まり

多くの先生が関わることで、多様な見方でこどもを見守ることができ、こどもに対する理解が深まります

いっしょに 取り組める

働きやすく働きがいのある学校を実現するため、チームで取り組むメリットをいかした授業改善や事務の見直しにつながります



こどもの声

中学校への不安解消・軽減

小学校の先生が中学校の勉強やテスト、部活動等の話を聞くことができて良かったです

友だちの存在

中学校に進学した際に知っている友だちや先生がいて安心しました

交流による気づき

普段と違う友だちの発表が聞くことができて良かったです

意見を参考に自分も実践してみようと思いました

先生の声

新たな気づき

小学校の先生たちは、友達に効果的に伝える方法を工夫していることが分かりました

授業の質向上

教材や指導案をいっしょに作成・共有することで、授業の質を向上させることができました

こども主体の取組の実現

小学校の行事に中学生が参加したことで、こどもが主体となった行事運営が実現しました

保護者等の声

進学に際しての安心感

子どもが知っている友だちや先生といっしょにすることで、安心している様子が伺えました

再会の喜び

幼稚園の頃からの友だちと再会した子どもが、楽しかったと嬉しそうに話しています

地域とのつながり

隣の校区の子どもたちと仲良く学んでいる姿を見ると嬉しく思います